

子育て、教育の問題、 一步一步前進しています。

鎌倉の子ども達を育てるのに、保護者や学校にだけに任せるのではなく、市民皆の力を結集して育てるまちづくり、「共育」をテーマに取り組んでいますが、この2月議会で予算化され、6月議会で3つの課題について支援策が決定し、前進しました。今後多くの課題も残していますが、一層の充実に努めてまいります。

いじめ対策、スクールバディ制度拡充

なかなか解決が難しいのが不登校といじめの問題。特に中学校では大きな問題です。H27年の場合、市立中学校の不登校生徒は約100名。市内9中学校に10名ずついることになります。

不登校イコールいじめではありませんが、その一因となるいじめの問題を、子ども達自身の取り組みでなくしていく「スクールバディ」。子ども達自身が自発的に考え話し合っていく方法で、昨年手広中学校で始まりました。

ぜひ全中学校での実施を要望してきましたが、今年は第二中学校と御成中学校での実施が決まり、7月4日にその様子を御成中で参観してまいりました。「いじめをしない、見逃さない」という意識を子ども達自身が持つことが大切で、全校実施に向けて引き続き努力をしてまいります。

中学校給食、11月から開始！！

すでに説明会も開始され、8月下旬には試食会も始まり、10月上旬には予約受付開始。1食は330円(予定)。給食は大切な食育の一環と考えての実施です。できるだけ地元の食材を使って欲しいですね。

ブログ「いやさか通信」から

母と子ふれあいトスペース



梅雨の晴れ間、第36回母と子どものふれあいトスペースボール鎌倉大会が開催。このふれあいを忘れずにとご挨拶をしました(6/24)。

材木座五所神社のお祭り



威勢のよい掛け声とともに神輿が海に入ることで有名なこのお祭り。気持ちワクワクする鎌倉の風物詩、夏到来を実感(6/10,11)。

栄西禅師まつり、寿福寺にて



日本臨済宗の開祖栄西禅師を偲ぶ鎌倉同人会の催し。句会もあり勇気を出して初出席。「オオルリの声に目覚めて栄西忌」と詠みました(6/10)。

鎌倉市国民保護実働訓練



鎌倉武道館でテロリストが液体散布、重症多数、犯人逃走。という設定で、自衛隊、警察、消防、医療関係者が参加。緊迫の訓練でした(5/29)。

鎌倉ビーチフェスタ



南の島のような真っ青な空の下、フラダンスが披露され食べ物ブースが並びます。大竹画伯が製作したカーニバル「主神」とともに(5/27,28)。

鎌倉歴史文化交流館開館



市内の埋蔵文化財を中心に、鎌倉の歴史や文化の理解を目的とした交流館がオープン。子ども達の学習拠点として期待されています(5/15)。

前川あやこのホームページからブログ「いやさか通信」をご覧ください。
<http://www.maekawa-ayako.net>

共育のまち、鎌倉をつくろう



さる4月23日の鎌倉市議会選挙では、2,415名の方々のご支持をいただき、4期目を迎えることとなりました。12年前の初当選から一貫して、子ども達の教育を始めとするまちづくりに努力してまいりましたが、常に初心に立ち返って働きたいと思っております。写真は、日本最古の築港遺跡といわれる国指定史跡「和賀江島」の清掃活動に参加した時のもの。(2017.05.14)



前川あやこ

無所属 鎌倉市議会議員

2005年初当選 4期目 鎌倉みらい代表

議会運営委員会委員長

教育・子どもみらい常任委員

政策法務研究会メンバー

レポート

NO.53

2017,07発行

2017年6月議会からのご報告

- 1 いじめ対策、スクールバディ制度拡充
- 2 放課後の子ども達の居場所づくり
- 3 保育園の待機児童解消に向けて
- 4 危険斜面、樹木の庁内調整会議設置

放課後の子ども達の居場所づくり

◆放課後子ども総合プラン、「放課後かまくらっ子」

放課後子ども総合プランは、共働き世帯等の「小1の壁」を解消するとともに、次代を担う人材育成のために、全ての児童が放課後を安全・安心に過ごすことができ、様々な体験・活動を行うことができることを目的としています。このための施策を鎌倉市では「放課後かまくらっ子」と名付け、実施していきます。

◆基本は全ての小学校の中に施設をつくる

これまでは子どもの家＝学童保育と子ども会館と別々の施設で行われてきましたが、全てを各小学校内に設置して一体型で運営。施設の高度利用で、放課後の子どもの安全・安心をはかり、豊かな放課後時間を過ごすというもの。

すでに校内に施設のある稲村小、今泉小の他、H30年度には深沢小、関谷小。H31年度にはさらに7校、H32年度には全校実施される予定です。

◆学童保育の待機児童をなくすために

学童保育を望む子達は、保育園入所希望者と連動しますが、子どもが小学生になるとともに働き始めたいと言う保護者も多く、全校児童数(約8,000人)の2割前後が入所希望(約1,600人)で、現在約80人の待機児童がいます。この解消のためにも全小学校内に施設を作ることが急務であり、一層の早期化を要望しています。

御成小学童にエレベータを!!

御成小の学童は保存が決まった旧図書館を整備することになっていますが、ここに障がい児童のためのエレベータ設置を要望しています。

保育園の待機児童解消に向けて

◆市立由比ガ浜保育園、H29年11月にオープン

保育園の待機児童は4月現在47人。その内約半数を鎌倉地域が占めます。今年11月には由比ガ浜幼稚園が開園します。この施設は、材木座保育園、稲瀬川保育園が共に津波の浸水地域にあるため、2園を統合して、子育て支援センターと障がい児放課後余暇支援施設との複合施設として建設されています。

2園の定員合計は180人。新園開設とともにどれほど定員が増やせるかが問題です。それに伴う保育士の増員などに市も努力をしているところです。また、鎌倉地域に小規模保育施設がオープンの予定です。

◆病児保育室開設、さらに新保育園建設計画

7月4日から由比ガ浜二丁目に委託事業として始まったのが「かまくらファミリークリニック病児保育室トコトコ」。定員は4人で、HPで受付けています。

新保育園の開設予定は、H31年度に佐助一丁目の法務局旧鎌倉出張所を借用しての認可保育園、定員60人以上。計算上はこれで待機児童は解消されますが、現実には希望者の増加があり、まだまだ足りません。

入園を希望する方は、今すぐ入園できる場所が必要です。何年後という話をしても意味がありません。

そこで私が提案しているのが、市内22幼稚園での預り保育や延長保育。保護者の働き方次第では有効だと思えます。至急の研究と施策化を求めています。

まず、先生方に見学して欲しい!!

5月15日にオープンした「鎌倉歴史文化交流館」。歴史・文化を学び体験する施設ですが、子ども達の郷土学習のために、まず全教師が見学・体験する必要があるのでは。

危険斜面、樹木の庁内調整会議設置

昨年、佐助で大木が道に落下、通行中の子どもに当たり、数時間に渡って通行止めとなりました。また小坪と鎌倉市の境界付近で大規模な崖崩れが起き、交通不能となるなど伸び切った樹木が原因でした。

危険樹木の情報は私のところにも多く寄せられ、これまでもその危険性を度々指摘してきました。民有地に限れば、6年に一度の市による伐採を3年に一度とすることができました。

◆H29年度は危険樹木の調査から

そしてこれも私が要望してきたところですが、緑を管理し防災・安全のための庁内横断組織「鎌倉市危険斜面及び危険木に関する調整会議」ができました。

防災安全部、経営企画部、まちづくり景観部、都市調整部及び都市整備部など6つの部局からなります。

市の緑地、民有地など所有者のはっきりしない危険木をふくめて、今年度はまず樹木調査の予定で、5月24日に第1回会議が開かれました。

最近の自然の荒々しさを考えれば、速やかな調査と対応を求めています。

▶崖に張り付いた樹木が大きく育ち、落下すれば電線を切断し生活道路を塞いでしまう(7/6)。



小学校校舎の老朽化!!

築50年以上という小学校が多い鎌倉市。例えば第二小では、歩道橋、トイレ、雨漏りなどの修理が急務。他校でも同じ問題があるはず、改築も含めて早急の計画が必要。